

大篠支所管内より

健康の秘訣は、継続すること！

にしもりりつ
西森 律さん(97)

JA女性部大篠支部の最年長部員の律さんは、大正13年生まれの御年97歳！女性部歴30年以上の大ベテランです。

県内の中学校で17、8年程、先生をしていた律さん。今でも届く、教え子さんからの手紙を「教師冥利に尽きる」と見せてくれました。

趣味はクロスワードパズル。1ヶ月に1冊、多い時で2冊以上解くこともあります。『こうぐり』が届くと、一番にクロスワードを解くそうです。

地域で行われている百走会やラジオ体操に続けて参加し、自宅には、栄光のトロフィーがずらり！「市民賞を頂いた経験は、私の誇り」と嬉しそうでした。これからも、たくさんの人と話して、笑って長生きしてください。

れいほく支所管内より

地域に寄り添える企業を目指して

みなななか
三谷 七香さん(23)

高知大学4年生の三谷さんは大阪府のご出身で、現在地域協働学部に在籍しており、昨年から土佐町西石原地区にある集落活動センター「いしはらの里」で実習活動終了後、移住されました。

地域のイタドリや県内特産品を使用した「山のラー油イタドリカツオ」に企画段階から携わっており、取材時には「高知家うまいもの大賞」の一次審査を通過されているとの事で、地域の魅力を活かした活動をされています。

活動の一環として地域の方と協力して作成したクリスマスイルミネーションがとても素晴らしく、人生で一番感動したという三谷さん。大学卒業後もさらなる地域の魅力を掘り起こし、地元に関わり添って働ける場所を作っていきたいと将来の展望を語っていただきました。

久礼田支所管内より

我が家の癒しです

かねだよしみつ
飼い主：金田 善充さん

でん
ペット：田くん(1歳4ヶ月)

サラサラの毛と、眉毛のような茶色い目がチャームポイントの田くん。県内に柴犬のブリーダーさんがいることを知り、1年程前から予約。2020年9月に家族として迎え入れました。

甘えん坊で人が大好きな田くんですが、家の中では少しわがままな一面も。「最初は、しつけが大変だった」と善充さん。今では、お座り、お手、タッチはお手の物！「バキューン」と撃ち真似をするとコロコロと倒れる田くん。お見事でした。

ボール遊びにおやつ、家族のことが大好きで、家に帰るといつも激しめに迎えてくれるそうです。家族に癒しを与え、大切な存在の田くん。愛情をたくさん受けて、すくすく成長してね！

長土
地区

からごんにちは 今月の気になる人

やりがいのあるシトウ栽培。

やっぱり、面白い！！

もりおひろゆき
森尾 弘幸さん(45)

今年で就農12年目の弘幸さんは、南国市十市でシトウ10.7アールを栽培しています。就農当初は「シトウに追われる夢を見ていた」と弘幸さん。夢の中でも、シトウを収穫していたそうです。

昨年の9月中旬に800本を定植。現在は、奥さんとパートさんの3人で収穫を行っています。「手を加えたら加えただけ、結果に表れるので面白い。大変やけど、一番やりがいがある！」と話します。4年前からショウガの栽培を始めた弘幸さん。今後は、規模拡大も視野に入れています。

今年より来年、来年より再来年。品質の向上を目標に、野菜を栽培する『イクメン』として、日々奮闘されています。

十市支所管内より



なによりの「喜び」

ひさまつ けい
久松 慶くん(0)

しゆへい
父：修平さん

りやう
母：涼さん

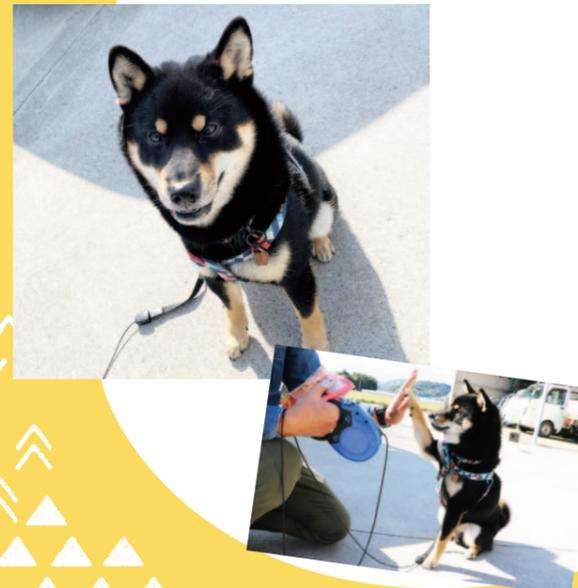
修平さんは和歌山県より、涼さんは東京都より地域おこし協力隊としてそれぞれ高知県に移住され、結婚・妊娠を機に土佐町に引っ越されました。現在、修平さんは林業を営みつつ、稲作や柚子の栽培を行っています。

9月に生まれた慶くん。ご両親のこの子が生まれてくれた事に対する「喜び」の気持ちが名前の由来です。

地域の人の話では地区で子どもが生まれることが約10年ぶりとのことでご近所さんにとっても喜びでした。また、妊娠中はよく近所の方より差し入れをいただいたとのこと。

近所のみならずからも喜ばれた慶くん。ご両親は「地域の良さを知りつつ成長し、自分の好きな事を思いっきり取り組んで欲しい」と思いを語っていただきました。

れいほく支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



完成した花と一緒に (①吉野小学校) (②本山小学校)

1 れいほく地域

花育活動で小学生に出前授業

J A高知県れいほく花き部会は11月5日と12日に、本山町内の小学校で、フラワールンジメント体験教室を開きました。

5日の吉野小学校の体験教室には、3、4年生8人と、生産者や家族8人、J A職員ら4人が参加。12日には、本山小学校の3年生18人を対象に授業が行われ、生産者ら9人が参加しました。

児童らは、同部会の澤田部会長の妻みどりさんから説明を受けた後、一緒にフラワールンジメントを楽しまし、みどりさんは、「花を身近に感じてほしい、手に取るきっかけになれば」と話しました。同部会では、4戸が約1.5ヘクタールでトルコキキョウやユリ、ノールなどを栽培。地域で栽培されている花に関心をもちてもらいたいと、管内の小学校に呼びかけ4、5年前から出前授業を行っています。澤田部会長は、「この活動を通して、花を育てることに興味・関心を持ってもらえたら嬉しい」と笑顔で話しました。

2 南国地域

大学生に無償で手作り弁当配布「地産地消なんこく弁当」



笑顔で弁当を受け取る学生 (物部キャンパスで)



J A高知県かがくま市加工部会は、11月11、12、18、19日の4日間、高知大学の物部キャンパスと岡豊キャンパスの学生に、手作り弁当を無償で配布しました。コロナ禍で経済的に影響を受けている大学生を南国市の農産物を使用した弁当で支援し、地元食材の消費拡大に繋げていくことが目的。市が企画した、南国市地産地消費拡大事業「地産地消なんこく弁当」で大学生を応援プロジェクトからJ Aに協力依頼があり、同部会が引き受けました。

用意した弁当は、各200食の計800食。手作り弁当には、シントウやパプリカ、四方竹など、同市の農産物を使用し、彩りよく仕上げました。部会員は、手作り弁当と田舎寿司、ドーナツを学生一人一人に手渡しました。

両学部合わせて約1460人が在籍している同校では、半数近くの学生が県外出身者だそうです。取組みを通じて、地域の農産物に興味・関心を持ってもらう機会にも繋がりました。

3 れいほく地域 地域の特産「土佐あかうし」小学生に出前授業



土佐あかうしについて学ぶ児童ら

J A高知県れいほく営農経済センターは10月28日、大豊町立おおよ小学校の3年生11名に地域の特産品である土佐あかうしの出前授業を行いました。

同センターの竹政敬生指導員は、児童らに土佐あかうしの特徴や畜産農家の仕事について説明。児童は熱心に耳を傾けました。竹政さんは、「生産者の苦労や思いを知ってもらうきっかけに繋がれば」と話しました。

同地域では、県内で飼育されている土佐あかうしのおよそ半数(約1200頭)を飼育。若い農家を中心に県や役場、J Aなどが協力し、飼育数を増やすための取組みも積極的に進んでいます。

4 南国市地域 ごとおち市へお買い物



レジでお会計をする園児

J A高知県の直販所「ごとおち市」は11月16日、南国市の稲生保育園の5歳児13人に、買い物学習の場を開きました。園児は、手持ちのお小遣い300円以内で、店内に並べられた旬の農産物を取り、「これは何円?」「これは買えるかな」など、やりとりをしながら、買い物を楽しみました。購入した商品は、エコバック等に入れ、持ち帰りました。

同保育園では毎年、公共交通機関を使い、高知市内の商店街で買い物学習を行っています。コロナ禍での密を避けるため、昨年より徒歩で同直販所を訪れ学習をしています。

5 れいほく地域 第3回 J A高知県肉牛枝肉共励会



褐色和種で最優秀賞を受賞した秋山さん (左)

高知県広域食肉センターで11月16日、第3回(令和3年度)J A高知県肉牛枝肉共励会が開かれ、黒毛和種11頭、褐色和種12頭の計23頭が出品されました。同日行われた枝肉の測定審査では、本山町で繁殖と肥育を一貫して経営する秋山裕二さんが褐色和種で最優秀賞に輝きました。

審査を務めた、高知県畜産試験場の場長(獣医師)野村泰弘さんは、「ロース芯面積が大きく、肉色も非常に良かったです。農家さんの肥育技術の向上が自覚ましく、全体的に良かった」と評しました。嶺北地域からは、黒毛和種4頭、褐色和種4頭が出品され、取引されました。

6 南国市地域 岡豊高校がみそづくり体験



空気が入らないように丸める生徒たち

南国市岡豊町のみそ加工場で11月19日、高知県立岡豊高等学校の3年生20人に、白みそづくりの教室を開きました。同教室は、農業や食文化への理解を深め、米の消費拡大と後継者育成を図ろうと20年以上前から毎年行われています。

生徒たちは、J A職員よりみそづくりの歴史や作り方の説明を受けた後、グループに分かれて、機械でミンチ状にしたものを丸め、桶に詰めていく作業を体験。仲間と協力しながら、作業に励みました。

今回作った白みそは、約3か月熟成させた後、調理実習で使う他、各自持ち帰ります。

えいのう〜

役立つ! 得する! 情報

れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

土壌分析を行い、 効率的な土づくりをしませんか

基肥には、定植から生育初期の樹づくりに必要な肥料分を補う大切な役割があります。施肥量の不足や過剰は、活着不良や草勢の低下につながります。作物に必要な成分、時期、量で施肥することが重要です。土壌を最適な条件にするため、作付け前には土壌分析を行い、適正な施肥を心がけましょう。

【土壌分析で分かること】

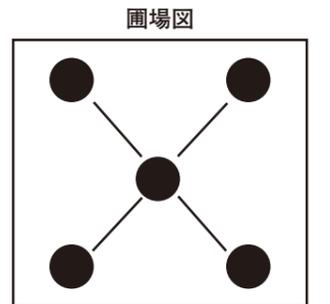
土壌の酸性・アルカリ性を示す「pH」、土壌の塩類濃度を示す「EC」を主に測定し、その他にリン酸、苦土、カリ等が測定できます。

pHは1~14の値で示され、7程度を中性、7から数値が小さくなるほど酸性、7より大きくなるほどアルカリ性となります。土壌の一般的な適正值は6.5程度です。

ECは一般的に0.5が目安となり、数値が高くなると作物の根に障害が発生し、水分を吸収しづらくなります。

【土壌検体の採取方法】

- ・1か所から採取するのではなく、右の圃場図にある通り
- ・●の場所から採取すると圃場全体の正確な分析ができます。(1か所50~60g程度)
- ・表層の土を2~3cm程払い除け、根が張っている部分(10~15cm付近)を主に採ります。
- ・土を新聞紙等の上で広げ、風通しの良い日陰に放置し、よく乾燥させてください。(土に水分がなくなるまで)乾燥が終わり次第、ビニール袋等に入れ、れいほく営農経済センター営農販売課へ提出をお願いします。



GAP 掲示板 vol.22

今月の優良事例

れいほく地域

「定期的な機械の点検について」

優良ポイント: 機械の点検を定期的に行っていますか?

機械の点検や整備ができていないと作業事故に繋がりますので、未整備状態の機械は使用しないでください。ボイラーやフォークリフトなどの機械は定期自主検査が必要になり、その記録を3年間保存しなければなりません。

点検方法については取扱説明書の内容に従って行うようにしましょう。また、機械の使用後は必ず泥や土を洗い流し、清潔に保ちましょう。



南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課

0881-8631-2415

ニラの定植準備

◆土づくり

土づくりとして、有機物(ケイントップ等)を10a当たり800kg程度と苦土石灰を播種予定の1ヶ月前までに施用します。有機物を一度に多量施用すると白絹病の発生などを助長するので注意します。

なお、苦土石灰については土壌分析の診断結果に基づき施用量を決定し、pHが6.0~6.5になるよう矯正します。

pHが7.0以上(アルカリ性)、5.0以下(強酸性)では生育障害や生理障害が起りやすくなっています。

◆元肥

定植の10日前には施用・耕運します。

◆畝立て

畝作り前に土壌が乾燥していれば、水をかけて適湿で耕運・畝立てを行います。湿害を受けやすい為、畝は高く作り排水対策をしっかりします。また、畝の表面が平らでない場合、灌

水時のむらなどにより、生育むらができるのでできるだけ平らに均します。

◆マルチング

マルチの穴が畝の肩から落ちないよう余裕を持った畝を作り、白黒マルチを被覆します。白黒マルチは地温抑制、雑草抑制効果があるので、定植後も張りっぱなしとします。



南国営農経済センター 営農指導課 近澤 慶哉

露地青ネギ 冬場の管理

◆追肥

第一回目の追肥は定植後20日頃に、10aあたり化成肥料20kg程度を目安として施用します。第二回目の追肥はネギの生育状況を見ながら収穫の20日前頃に施用します。なお、ネギは濃度障害に弱く、過剰な施肥は病害や品質低下を招くので注意しましょう。

◆灌水

降雨が少なく、乾燥が続く場合は発育が悪くなるので灌水をするか、畦又は通路に水を通して適当な湿度を保たして下さい。乾燥しすぎると葉先枯れが発生しやすくなります。ただし過剰な灌水は葉折れや倒伏の原因となるため注意してください。

◆防寒対策

気温が4℃を下回ると霜がおりやすくなりますので、低温対策のために寒冷紗等で被覆します。厳寒期は保温のために農ポリで被覆する場合もありますが、その際はトンネル内が多湿にならないように適宜換気に努めます。

◆病害虫

冬場は夏場に比べて病害虫が少ないものの、アザミウマ類や、灰色カビ病、白色疫病の被害が起ります。特にトンネル被覆時は内部の温湿度上昇およびそれに伴う病害虫の発生に注意しましょう。



南国営農経済センター 営農指導課 吉川 悠也

栽培講習会

家庭菜園向け初心者対象の講習会として開催しております。直販等に出荷されない方もお気軽にご参加ください。

日時内容

令和4年2月16日(水)
13時30分~15時20分

●エダマメ

13時30分~14時

●スイートコーン

14時10分~14時40分

●オクラ

14時50分~15時20分

場所

JA高知県南国営農経済センター2階
(南国市上野田303-1)

講師

JA営農指導課職員

※参加ご希望の方は2月15日(火)までに、JA高知県南国営農経済センター営農指導課(0881-8631-2415)まで連絡をお願いします。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

温かい食べ物のごちそうの季節になりました。野菜も地元産が出回り始めて、ありがたいです。寒さ厳しくなるこれから、体調に気を付けて無理せず、頑張ろうと思うこの頃です。編集の方々も、無理せずこれからもよろしく願います。

(久礼田支所・68歳)

▼お鍋、おでん、シチューなど・寒いと温かいものが身に沁みますね。いよいよ冬本番！無理せず、お身体ご自愛ください。

「どっちこまつり」って面白いですね！意外にお箸では、はさめないと思います。面白い！色々と工夫をしていますね。(れいほく支所・63歳)

▼とても楽しそうな企画でしたね！過去最高記録の41個には驚きました!!写真からも楽しそうな雰囲気伝わってきました。ぜひ、挑戦してみたいですね。

今回の45歳で新規就農された方は、20歳の頃から農業一本で家業を継いできた私とは全く異なる新規就農の記事でしたが、とても新鮮な内容に感じられました。45歳という年齢での新たな挑戦、地元愛媛を離れて高知で就農という二重の苦労にもめげることなく、3年目を迎えられるとのこと、目標とされている果樹農園設立を叶えるその日まで、農業を続けていつともええたらと思う。作物は違えど、同じ農業者として胸に感じる思いです。

(十市支所・60歳)

▼香美地区の三好さん、ご自身の夢を叶えるために、頑張ってくださいね。生産者さん一人一人違ったストーリーがあり、感慨深いものがあります。

それぞれの地域で活躍されている人々や催しが紹介されていて楽しいです。

(長岡支所・83歳)

▼地域で活躍されている方々の存在は活力にも、励みにもなります。今後も、地域やJAグループの取組みを誌面で紹介していきます！

「どっちこまつり」は行ったことがないので、行ってみたいですね。青ユズつかみやってみたいな。あぐり食堂ほっとは、かざぐるま市の隣りで、よく利用します。モーニング、ランチ、おばさんたちも明るい!!

(日章支所・69歳)

▼「どっちこまつり」楽しそうでしたね。次回開催される際には是非、参加してみてください。「あぐり食堂ほっと」をご利用いただきありがとうございます。いつもパワフルな女性部の皆さんに、私も毎度、元氣とパワーをもらっています。

退職まで4か月。実感はまだないけど、4月からやってみようことは家庭菜園。花壇でできる野菜作りをご近所さんに習います。

(れいほく支所・60歳)

▼退職後の家庭菜園いいですね！毎月の『えいのう』にも、役立つ情報を掲載しておりますので、そちらの方も是非、参考してみてください。

川柳紹介

冬の朝

こころも包む

ドテラかな

(大篠支所・76歳)

疫病退散

アマビエサマにも

疲れ

(長岡支所・73歳)

メロンも

マスクも 多いめに

(れいほく支所・65歳)

イラスト紹介



(日章支所・76歳)

育苗センターアルバイト募集

内容

水稻苗の出荷、播種作業など

作業期間

2月から3月下旬頃まで

募集人数

若干名

※勤務時間、時給などは下記連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先

(株)南国スタイル (担当：後藤) (TEL：088-855-3179)

田村堰井筋関係水系の春期水止め

水止め期間

令和4年2月22日(火) 8時～令和4年3月7日(月) 17時
※(幹線水路修繕工事のため、例年の1週間前から行います)

水止め水路

「物部川統合堰」系統の各土地改良区
(田村堰井筋、物部堰井筋、久枝) 全水系

お問い合わせ先

物部川(連)土地改良区 (TEL：0887-55-2216)